

## 貸借対照表

(2019年3月31日現在)

(百万円)

資産の部		負債の部	
<b>流動資産</b>	<b>247,516</b>	<b>流動負債</b>	<b>113,071</b>
現金及び預金	68,915	支払手形	13,977
販売用不動産	68,159	電子記録債務	14,481
仕掛販売用不動産	91,194	工事未払金	10,862
未成工事支出金	16,022	短期借入金	61,551
前渡金	1,865	未払金	1,815
その他	1,359	未払法人税等	3,719
		前受金	1,531
<b>固定資産</b>	<b>13,785</b>	預り金	3,934
<b>有形固定資産</b>	<b>5,072</b>	賞与引当金	893
建物	1,768	その他	304
構築物	15	<b>固定負債</b>	<b>37,283</b>
機械及び装置	531	長期借入金	34,083
車両運搬具	418	退職給付引当金	2,264
工具、器具及び備品	504	保証工事引当金	923
減価償却累計額	△1,836	その他	11
土地	3,586	<b>負債合計</b>	<b>150,354</b>
建設仮勘定	83		
		<b>純資産の部</b>	
<b>無形固定資産</b>	<b>95</b>	<b>株主資本</b>	<b>110,892</b>
		資本金	3,298
<b>投資その他の資産</b>	<b>8,617</b>	資本剰余金	3,208
投資有価証券	1,357	資本準備金	3,208
関係会社株式	4,127	<b>利益剰余金</b>	<b>104,385</b>
繰延税金資産	1,743	利益準備金	54
差入敷金保証金	1,233	その他利益剰余金	104,330
その他	172	特別償却準備金	63
貸倒引当金	△18	繰越利益剰余金	104,267
		<b>評価・換算差額等</b>	<b>54</b>
		その他有価証券評価差額金	54
<b>資産合計</b>	<b>261,301</b>	<b>純資産合計</b>	<b>110,946</b>
		<b>負債・純資産合計</b>	<b>261,301</b>

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書

2018年4月1日から

2019年3月31日まで

(百万円)

科 目	金 額	
売上高		335,213
売上原価		285,902
売上総利益		49,311
販売費及び一般管理費		24,833
営業利益		24,477
営業外収益		
受取配当金	404	
受取違約金	170	
その他	191	766
営業外費用		
支払利息	794	
融資手数料	190	
その他	79	1,064
経常利益		24,179
特別損失		
固定資産除却損	21	21
税引前当期純利益		24,157
法人税、住民税及び事業税	7,068	
法人税等調整額	140	7,209
当期純利益		16,948

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書

2018年4月1日から

2019年3月31日まで

(百万円)

	株 主 資 本							株主資本 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金		利 益 剰 余 金 合 計	
		資本準備金	資本剰余金 合 計		特別償却 準備金	繰越利益 剰余金		
当 期 首 残 高	3,298	3,208	3,208	54	79	105,486	105,620	112,127
会計方針の変更による 累 積 的 影 響 額						△703	△703	△703
遡及処理後当期首残高	3,298	3,208	3,208	54	79	104,782	104,916	111,423
当 期 変 動 額								
剰 余 金 の 配 当						△17,479	△17,479	△17,479
当 期 純 利 益						16,948	16,948	16,948
特別償却準備金の取崩					△15	15	-	-
株主資本以外の項目の 当 期 変 動 額 (純 額)								
当 期 変 動 額 合 計	-	-	-	-	△15	△515	△531	△531
当 期 末 残 高	3,298	3,208	3,208	54	63	104,267	104,385	110,892

	評価・換算差額等		純 資 産 合 計
	その他有 価証券評 価差額金	評価・換算 差額等合 計	
当 期 首 残 高	57	57	112,184
会計方針の変更による 累 積 的 影 響 額			△703
遡及処理後当期首残高	57	57	111,481
当 期 変 動 額			
剰 余 金 の 配 当			△17,479
当 期 純 利 益			16,948
特別償却準備金の取崩			-
株主資本以外の項目の当 期変動額(純額)	△2	△2	△2
当 期 変 動 額 合 計	△2	△2	△534
当 期 末 残 高	54	54	110,946

(注)金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

##### ① 有価証券

子会社株式 移動平均法による原価法

その他有価証券  
時価のあるもの 事業年度の末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの 移動平均法による原価法

##### ② たな卸資産

販売用不動産、仕掛販売用不動産、未成工事支出金 個別法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ① 有形固定資産

1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物は定額法によっております。

上記以外の有形固定資産は定率法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 10～50年

構築物 10～35年

機械装置 17年

車両運搬具 2～6年

工具、器具及び備品 3～20年

##### ② 無形固定資産

自社利用のソフトウェア 社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

#### (3) 引当金の計上基準

##### ① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

##### ② 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、賞与支給見込額のうち当事業年度に負担すべき額を計上しております。

##### ③ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度の末日における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

##### ④ 保証工事引当金

建物引渡後の瑕疵担保等の費用の支出に備えるため、過去の実績に基づき計上しております。また、アフターサービスについては、個別に見積可能な費用については、発生見込額を計上しております。

#### (4) 収益及び費用の計上基準

工期のごく短いもの等については工事完成基準を適用し、その他の工事で当事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を適用しております。

#### (5) 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

ただし、資産に係る控除対象外消費税等は、発生事業年度の期間費用としております。

### 2. 表示方法の変更に関する注記

#### (1) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を当事業年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

#### (2) 貸借対照表

##### ① 流動資産

前事業年度まで区分掲記して表示しておりました「貯蔵品」(当事業年度13百万円)、「前払費用」(当事業年度390百万円)は金額的重要性が乏しいため、当事業年度より、流動資産の「その他」に含めて表示しております。

- ② 無形固定資産 前事業年度まで区分掲記して表示しておりました、「ソフトウェア」（当事業年度77百万円）、「電話加入権」（当事業年度18百万円）は金額的重要性が乏しいため、当事業年度より、「無形固定資産」として合算表示しております。
- ③ 投資その他の資産 前事業年度まで区分掲記して表示しておりました「出資金」（当事業年度139百万円）、「破産更正債権等」（当事業年度18百万円）は金額的重要性が乏しいため、当事業年度より、投資その他の資産の「その他」に含めて表示しております。
- ④ 流動負債 前事業年度まで区分掲記して表示しておりました「未払費用」（当事業年度302百万円）、「前受収益」（当事業年度1百万円）は金額的重要性が乏しいため、当事業年度より、流動負債の「その他」に含めて表示しております。

### 3. 貸借対照表に関する注記

#### (1) 担保に供している資産及び担保に係る債務

##### ① 担保に供している資産

販売用不動産	324百万円
仕掛販売用不動産	160百万円
計	484百万円

上記のほか、住宅瑕疵担保履行法に基づく住宅販売瑕疵担保保証金1,672百万円（投資有価証券 1,160百万円、差入敷金保証金559百万円）を供託しております。

##### ② 担保に係る債務

短期借入金	338百万円
-------	--------

#### (2) 保証債務

当社住宅購入者の金融機関からの借入に対する債務保証	1,641百万円
東洋ゴム工業㈱の工事請負契約に基づく工事請負代金支払債務に対する債務保証	144百万円

#### (3) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権	47百万円
短期金銭債務	28,617百万円
長期金銭債務	34,083百万円

### 4. 損益計算書に関する注記

#### 関係会社との取引高

##### ① 営業取引による取引高

売上高	12百万円
売上原価	8百万円
販売費及び一般管理費	1,016百万円

##### ② 営業取引以外の取引高

受取配当金	401百万円
支払利息	290百万円
融資手数料	190百万円

### 5. 株主資本等変動計算書に関する注記

#### (1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首の株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末の株式数
普通株式	28,562千株	一千株	一千株	28,562千株

#### (2) 剰余金の配当に関する事項 配当金支払額等

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年3月22日 臨時株主総会	普通株式	17,479	612	2019年3月22日	2019年3月25日

## 6. 金融商品に関する注記

### (1) 金融商品の状況に関する事項

#### ① 金融商品に対する取組方針

当社は、資産運用については短期的な預金等に限定し、また、資金調達については、主に事業用地の取得に対する資金について金融機関及び親会社より調達しております。

#### ② 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク並びにリスク管理体制

投資有価証券は、保証金として供託している国債及び業務上の関係を有する企業等の株式又は出資であり、発行体のリスク又は市場価格の変動リスクに晒されております。市場価格のある有価証券については、四半期ごとに時価の把握を行い、また市場価格のない有価証券については、定期的に決算書等、財務状況を把握できる書類を入手し、取引先企業等の財政状態等に変化がないか確認を行い保有状況を継続的に見直しております。

営業債務である支払手形、電子記録債務及び工事未払金については、1年以内の支払期日であります。これらは、決算時において流動性リスクに晒されておりますが、適時資金計画を作成・更新するとともに手許流動性維持などにより流動性リスクを管理しております。

借入金の使途は、主に事業用地の取得資金であります。このうち短期借入金は、主に変動金利を採用しており金利変動リスクに晒されております。金利変動については、月次単位で報告資料の作成を行い、急激な金利変動がないか管理を行うことにより金利変動リスクを管理しております。

#### ③ 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定した価額が含まれております。

### (2) 金融商品の時価等に関する事項

2019年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれておりません。

	貸借対照表計上額 (百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
(1) 現金及び預金	68,915	68,915	—
(2) 投資有価証券 その他有価証券	1,260	1,260	—
資産計	70,175	70,175	—
(1) 支払手形	13,977	13,977	—
(2) 電子記録債務	14,481	14,481	—
(3) 工事未払金	10,862	10,862	—
(4) 短期借入金	61,551	61,551	—
(5) 未払法人税等	3,719	3,719	—
(6) 長期借入金	34,083	34,601	517
負債計	138,675	139,193	517

(注) 1. 金融商品の時価の算定方法に関する事項

#### 資 産

##### (1) 現金及び預金

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

##### (2) 投資有価証券

株式の時価については、取引所の価格によっております。

#### 負 債

##### (1) 支払手形、(2) 電子記録債務、(3) 工事未払金、(4) 短期借入金、(5) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

##### (6) 長期借入金

長期借入金の時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

(注) 2. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

区分	貸借対照表計上額 (百万円)
非上場株式	97
関係会社株式	4,127

上記については、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上記の表には含めておりません。

(注) 3. 金銭債権及び満期のある投資有価証券の決算日後の償還予定額

	1年以内 (百万円)	1年超5年以内 (百万円)	5年超10年以内 (百万円)	10年超 (百万円)
現金及び預金	68,915	—	—	—
投資有価証券 その他有価証券のうち満期があるもの(国債)	—	178	982	—

## 7. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

### 繰延税金資産

たな卸資産評価損否認	228百万円
賞与引当金	273百万円
未払事業税	195百万円
退職給付引当金	693百万円
保証工事引当金	282百万円
その他	191百万円
繰延税金資産合計	1,864百万円

### 繰延税金負債

その他有価証券評価差額金	△24百万円
特別償却準備金	△27百万円
その他	△68百万円
繰延税金負債合計	△120百万円
繰延税金資産の純額	1,743百万円

(注) 繰延税金資産の純額は貸借対照表の以下の項目に含まれております。

投資その他の資産－繰延税金資産	1,743百万円
-----------------	----------

## 8. 関連当事者との取引に関する注記

### (1) 親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の 名称又は氏名	議決権等の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社	飯田グループ ホールディングス 株式会社	被所有 直接 100.00%	経営の指導 役員の兼任	資金の 借入 (注1)	30,995	短期借入金	28,100
				資金の 返済	20,263	長期借入金	34,083
				融資手数料 の支払 (注2)	190	未払金	205
				利息の支払 (注1)	290	—	—
				預け金の 回収 (注3)	15,000	—	—
				利息の受取 (注4)	0	—	—

#### 取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 資金の借入については、市場金利等を勘案した利率にて行われております。  
 2. 融資手数料については、当該融資の組成に係るアレジメント手数料として、金融機関に対する融資手数料等を勘案して決定しております。  
 3. 預け金の回収は、親会社である飯田グループホールディングス株式会社における拋出金管理細則に基づくものであります。  
 4. 預け金に付された利息については、定期預金の利率等を勘案して決定しております。  
 5. 取引金額には消費税等を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

### (2) 役員及び個人主要株主等

種類	会社等の 名称又は氏名	議決権等の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
役員及び その近親者	飯田和美	—	当社役員の 近親者	事務所用地 購入 (注) 1	46	土地	46
当社役員が議決権 の過半数を所有す る会社等	ファースト プラス株式会社 (注) 3	—	営業上の 取引	システムキ ッチン等の 購入 (注) 2	1,960	電子記録債務 工事未払金 未払金	526 226 3

#### 取引条件及び取引条件の決定方針

- (注) 1. 取引価格は、不動産鑑定評価額により決定しております。  
 2. 取引条件及び取引条件の決定方針については、市場価格等を参考に決定しております。  
 3. ファーストプラス株式会社の議決権については、当社の役員である飯田一樹が過半数を間接所有してあります。  
 4. 取引金額には消費税等を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

## 9. 1株当たり情報に関する注記

- (1) 1株当たり純資産額 3,884円41銭  
 (2) 1株当たり当期純利益 593円39銭

## 10. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。